

## 1 地域医療構想をめぐる国の検討状況等について（報告）

- 外来機能報告と「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」について
  - ・ 「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」であることが、地域医療支援病院や基幹型臨床研修病院等の必要条件となってくるのか。
  - ・ 「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」であることが、地域医療支援病院でなくとも、いわゆる大規模病院の初診料に付加される選定療養費（現在 5,000 円）をいただくことになるのか。
  - ・ 無床診療所を除けば、「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」であることと（内容によるが）、同一病院が有する病床種、病床数が連動してくる（例えば、高度急性期、急性期病床の増床や比率増が必要になる等）と思われるが、今後病床機能とともに検討されるのか。
- 今般の COVID-19 アウトブレイクに際し、感染症災害時の病院、医院の機能、役割分担を確認し、災害時のモードで動ける機動性のある計画が必要と思われる。

## 2 既配分病床の状況について（非公開）

## 3 その他（次年度の課題等について）

- 現在、高度急性期・急性期病院の救急外来より、平日・夜間休日を問わず、感染症ではない急性期の入院受け入れ要請があるが、自院はこの数週間、満床でほぼ要請に応じられていない。重症ではないが帰宅困難なケース、現状は広域で搬送されているのか。第8次医療計画では新興感染症や災害時への備えを並行して行うとされている。第6波の県内のこのような救急患者の受け入れ状況によっては課題となりうる。